

氏名	岸 本 博 文
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 1093 号
学位授与の日付	昭和 55 年 3 月 31 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 5 条第 2 項該当)
学位論文題目	日本人 Burkitt リンパ腫に関する研究 第 1 編 日本人 Burkitt リンパ腫細胞株の培養樹立 第 2 編 日本人 Burkitt リンパ腫細胞株のハムスターへの継 代移植
論文審査委員	教授 小川 勝士 教授 妹尾左知丸 教授 大藤 眞

#### 学位論文内容の要旨

日本人 Burkitt リンパ腫に関して以下の研究を行った。第 1 編では日本人 Burkitt リンパ腫患者の胸水より新細胞株 (JBL) を培養樹立した。患者は Epstein - Barr ウィルス (EBV) 血清抗体陽性であったが、JBL 細胞も患者リンパ腫細胞も EBV ゲノム陰性であった。いずれの細胞も monoclonal な細胞表面免疫グロブリン (IgM, lambda light chain) を有した。JBL は浮遊状態で増殖し、倍加時間は 30 時間で、大きな核と著明な核小体と空胞のある細胞質を有する幼若なリンパ系細胞で構成され、染色体分析では 1 本の大きな subtelocentric marker を有する pseudodiploid の核型を示した。

第 2 編では JBL を抗リンパ球血清処置新生児ハムスターの腹腔内に 10 代継代移植した。全ての移植ハムスターに浸潤性の腫瘍と多量の腹水の貯留をみた。ハムスターに継代した腫瘍は患者生検材料に類似した特徴的な starry sky 像を維持していた。JBL は腹水型として移植可能なため、その継代は非常に容易であった。

#### 論文審査の結果の要旨

本研究は Burkitt リンパ腫患者胸水より新細胞株 (JBL) を樹立し、in vitro でその細胞学的、免疫学的あるいはウイルス学的特徴や染色体の性状を検討すると共に、これを新生仔ハムスターに継代移植して腹水型腫瘍を得たものであるが、日本人 Burkitt リンパ腫についてはじめて重要な知見を明らかにしたのものとして価値ある研究であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。